

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	60	事業名	地域学校協働活動事業	担当部課	教育部教育総務課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	2 子どもが元気に育つまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	無		9-1-1 教育委員会費	
	事業開始の背景、経緯等	・地域全体で子どもたちの成長を支えるために、地域と学校が連携・協働する体制づくりを目指し、地域学校協働本部を設立する。 ・長久手小学校区をモデル校として、地域コーディネーターを核とした体制づくりを目指す。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	市民とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域と学校が連携して子どもが学ぶ環境の整備
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内小中学校の児童生徒
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 地域人材を活用した子どもたちの学びの機会を創出する。

項目	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)
事業費(A)	千円	予算	—	—	2,867	3,088	3,089
		決算	—	—	2,782	3,062	
人件費(B)	千円	決算	—	—	3,390	3,421	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	—	—	6,172	6,483	
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	人		—	—	6,263	6,423	6,531
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		—	—	1	1	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
			(2018)	(2019)	(2020)	(2021)	(2022)
延べ参加児童数	人	目標	—	0	20	40	60
		実績	—	0	0(中止)	13	
(指標の設定根拠) 事業を実施することにより、地域と連携して子どもたちに学びの機会を創出できると考えられるため (前年から指標を変更した場合はその理由) より成果を評価できる指標としたため (前年までの指標) 地域学校協働本部設立数			(数値目標の根拠) 地域学校協働本部で実施した事業への参加児童数				

これまでの振り返り	目標達成状況 ・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) ・長久手小学校区をモデル校とし、地域学校協働本部を設置している。令和3年度は、夏休み宿題教室・冬休み宿題教室を実施し、児童の学びの機会を創出した。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) ・土曜塾を大学生のボランティアと連携し実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) ・地域学校協働本部を新たに設立する学校区を選定する必要がある。 ・宿題教室を実施したが参加児童が少なかったため、内容や募集方法を改善する必要がある。

事業を構成する事務事業①	地域学校協働活動事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込		20	50	60	70	80
		実績		33				
(2) 【アクションプラン】 地域学校協働本部設立数 【累計】	校	見込		1	1	2	2	2
		実績		1				
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))> ・夏休み宿題教室 8/18開催 児童9人参加 ・冬休み宿題教室 12/24開催 児童4人参加							今後の方向性	拡充

事業を構成する事務事業②	地域学校協働活動事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	地域学校協働活動事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)
(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
		実績						
(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) ・地域コーディネーターを核として、新たな地域人材の発掘を積極的に行い、学校と地域の協働を活性化する。 ・コロナ禍で実施できていなかった土曜塾を、令和4年度中に開始する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和5年度までに2校区目地域学校協働本部を設立する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなでつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・行政改革指針に係る「協働事業の拡大」、「市民参加の仕組みづくり」に寄与できるよう引き続き取り組んでください。
内部意見への回答		